

サンドウィッチ

ケンちゃんを殺しに行く小生。

小生の武器は鋭利な刺すもの。

ケンちゃんはサダオカと一緒に居る。

斜めの監視カメラみたいな赤黒い画面。

黒い粒子が際立っている。

ケンちゃんに撃たれる小生。

画がよく見えている。胃を完全に撃たれる。

のたうち回るとかではなく、すごく気持ちが悪い。

サダオカはすごい笑っている。

事件みたいな取り扱い。

事件になった時には、小生は現場から居なくなっている。

予定があったため。予定はなにかの会合。大きな集まり。

畳が何十畳もしいてあるところに、何百人も人がいる。

誰かが何かを話している。小生は腹が痛い。

胃の方を撃たれているから。

いつ病院に行こうか、と考えている。

気付くと、入退場になっている会合。人が動き始めた。

はっと周りを見ると、サダオカがいた。

病院にはどっかで行っている。絶対に。

ちゃんとした治療は受けていない。痛いから。

すごい可愛い子。顔は見覚えがない。思い出す事も出来ない。

学校かなにかの帰り。女の人が二人いる。思い出せない。

学校の友達みたいな人たち。

エレベーター。すごい長いエレベーター。

全然エレベーターを設置するような場所ではない。

エレベーターを降りて、気付くと路地みたいなところ。

回りには、もう、すごい可愛い子しかない。

たぶん、恋愛しているすごい可愛い子。

ここがケンちゃんを殺しに来た場所だ。と、思い出す小生。

変な構造のアパート。みたことのないような構造の変なアパート。

建築的に出来ないような変な構造のアパート。

普通に見れば、奥の方は行き止まり。

アパートにドアがいっぱい。

腹が減っている。

奥の方に進んでいく。  
行き止まりだと思っている奥の方は、実際は抜けられる。  
と、思い出す小生。

前は奥の方を抜けて殺しにいったから。  
そこを抜けてケンちゃんを殺しに行ってるから。

現場に辿り着いてみると、壁があつて、ドアが一枚。  
天井が物凄く低い。

ドアを開けると、階段があつて、  
低い天井とぶつかっていて行けない。

小生が「行けるよ」というと、  
可愛い子は「えー絶対行き止まりだよ」という。

実際は行けない。

お腹へってないか、みたいな感じになつて  
「お腹減った」と可愛い子が言ったので、

家が近いから家でメシを作ってもらおう。  
腹が減っているけど、腹が痛い。

病院に行く。

可愛い子を待たしておく理由として「風邪だ」と言う。  
家で待っていてもらう。

闇医者のところに行く。女医に治療してもらっているだろう。  
最後に葉を出してもらう。

「鉄分を取りなさい」と言つて、女医に出してもらった葉は、  
鉄分は取れるのだが、バカになる副作用がある。

その葉は、完全な鉄の粒。  
他にも葉草のような葉が数点ある。

ばさばさしている。乾燥して固まっている。

帰つて来て、家に居る。

可愛い子とか、家族にバレないように葉を肉にまぶす。  
ロースみたいな肉にまぶす。

食べ物と一緒に飲まないと飲めない葉のため。  
それを料理してもらう。肉は小生の腹の肉。

肉を炒める。焼く音はすごく気持ちが悪い。

漂ってくる匂いも気持ちが悪い。

なんで気持ちが悪いかというと、本当に美味しそうな匂いだから。

でも今から自分の肉を食べるのか、

可愛い子と一緒に食べるのかと思うと、

ものすごく気持ちが悪い。